

問題

次の文は五年生の児童が書いた本の紹介文です。この文を読んで、後の問いに答えましょう。

ぼくたちが大人になる前に 読んでおきたい本がある

ぼうけん 『二分間の冒険』 おかだじゅん ちよ かいせいしゃ 岡田淳 著・偕成社・1985年

A { (ア) たいいくかんを抜け出した六年生の悟さとるが、(イ) ふしぎな黒猫に出会った時から始まる二分間の大冒険。異世界い まよに迷いこんだ悟が、様々な別れと(ウ) 試練を経験けいけんして、大きく成長していく物語です。

私わたしがこの本を手にとったきっかけは、担任たんになんの先生の一言でした。

B { 「子どものころに読んだ本の中でも、(エ) とくべつのお気に入りだったんだ。(オ) 昭和の作品なんだけど、ファンタジー好きの君ならきっと気に入ると思うよ。」

その言葉通り、この本が好きになってしまったぼくは、一晩で読み終わりました。今、三回目を読んでいます。

ファンタジーやゲームが好きな人には自信をもっておすすめします。ところで、この本のおもしろさの一つに、ある(カ) 登場人物が出題する「なぜ」を解とくことがあげられます。ここでその「なぜ」の一つを紹介しょうかいします。

C { 「四十七あるうちの、はじめのふたつにすぎないが、数えきれないものがある。それはなんだ。」

答えが気になるあなた。ぜひ手にとりて確かめてみてください。

問一

本文中の線部について、漢字の読みをひらがなで、ひらがなは漢字に直して正しく書きましよう。送りがなが必要なものは送りがなも書きましよう。

(ア) たいいくかん

体育館

(イ) ふしぎ

不思議

(ウ) 試練

しれん

(エ) とくべつ

特別

(オ) 昭和

しょうわ

(カ) 登場

とうじょう

問二

AとCの部分のうち、「物語のあらすじに当たる部分」と「物語文の引用に当たる部分」はどれでしょう。それぞれに当てはまるものを選び、□に書きましょう。

物語のあらすじに当たる部分



「あらすじ」とは、小説や映画などの大体の内容のことで、「引用」とは、本や文章の一節や文、語句などを自分の文章にそのまま取り入れることだよ。

物語文の引用に当たる部分

C

A

問三

本に書かれていることを引用して、文章を書くときに気をつけることについて、次の①～④から当てはまるものを二つ選び、番号を□に書きましょう。(答えは順番通りに書かなくてもよい。)

- ① 文や語句をそのまま抜き出し、かぎかっこ(「」)でくくるなど、自分が書いた文と区別する。
- ② 文を短くしたり文末を変えたりするなど、自分が書いた文に合うよう工夫する。
- ③ 引用元の書名や著者名などを明記し、読み手が引用元を確認できるようにする。
- ④ 引用した本が多い場合は、主な書名のみを書くなど、読み手に分かりやすく工夫する。

①

(③)

③

(①)



③のように、引用元のことを「出典」といって、文章の最後に書き記すよ。